

2020年5月29日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「Stage IV 胃がんにおける Conversion therapy (Adjuvant surgery) の意義に関する国際多施設共同後ろ向き研究」への協力をお願い

消化器外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2001年1月～2014年12月に当科において、胃癌で Stage IV と診断され、手術を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2023年12月31日

研究目的・方法：Stage IV の胃癌の患者さんの治療の第一選択は、胃癌治療ガイドライン第5版では化学療法が第一選択とされていますが、近年化学療法が奏功し、腫瘍を完全切除できる可能性のある患者さんに対して手術を行う conversion therapy が長期生存に寄与する可能性が指摘されています。本研究は本邦を含むアジアで行われているこの conversion therapy の現状を明らかにし将来的な Conversion therapy の意義を明らかとする研究の基礎的データを収集することを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：CONVO-GC-1 試験ですでに集積した Stage IV と診断された胃癌患者さんの患者背景、治療内容、治療成績、生命予後などの診療情報を再利用します。

外部への試料・情報の提供：本研究では CONVO-GC-1 試験ですでに集積し、匿名化されたデータを用います。この匿名化データは参加施設主要施設で共有し解析を行います。

研究組織：

FACO (Federation of Asian Clinical Oncology)

日本癌治療学会

韓国臨床腫瘍学会

中国臨床腫瘍学会

- 【研究代表者】 吉田和弘 岐阜大学医学部 腫瘍外科 教授 吉田和弘
【研究事務局】 岐阜大学医学部 低侵襲・がん集学的治療学講座 教授 山口和也
【参加施設】 CONVO-GC01 の参加施設全施設 本学における実施体制
【研究責任者】 岐阜大学医学部 腫瘍外科 教授 吉田和弘

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系 研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

石川県立中央病院 消化器外科
電話番号 076-237-8211
氏名：辻 敏克

当院研究責任者

消化器外科
氏名：辻 敏克